

# 新型コロナウイルス感染症に対する自治大学校の取組み

自治大学校は全国から研修生が集まり共同生活を送るという研修形態に鑑み、新型コロナウイルス感染症に関して、主に以下の対応を取っております。

## 施設・教室等

- ・来校者に対する検温の実施（校舎エントランス・寄宿舍エントランスに検温器を設置）
- ・校舎エントランスや各教室入口等に消毒液を設置
- ・対面が伴う校舎エントランス受付や図書室カウンター等には飛沫防止板を設置
- ・空調による常時外気の取り入れ、教室入口の常時開放等
- ・教室内の飛沫防止策

（例）

教室では距離が確保できるよう座席を配置

各教室の教卓に飛沫防止板を設置

講義は、原則マスクを着用（演習ではフェイスシールドも着用）

- ・教具については講義ごとにアルコール消毒を実施。
- ・トイレのエアータオルを使用禁止
- ・各種ポスターの掲示



図書室カウンター



検温器  
(寄宿舍エントランス)



## 寄宿舍等

- ・トレーニングルーム及び寄宿舍各階の談話室に利用管理簿を設置
- ・寄宿舍は個室（バス・トイレ付）

## 食堂

- ・食堂利用時の導線を徹底 券売機→手洗い・手指消毒→配膳
- ・配膳カウンターに飛沫防止シートを設置
- ・食堂の配膳を変更（従前は利用者が自らご飯等をおよそっていたが、配膳はスタッフが行うように変更）
- ・調味料等は個包装の物を準備
- ・座席の間隔を空け、対面とならないように配置（使用不可席を表示）



食堂の座席



## その他

- ・研修生に対しては、研修受講決定時に、「新型コロナウイルス感染症への対応について（令和3年5月付自治大学校庶務課長・教務部長）」を通知し、入校前に注意事項をあらかじめお知らせするとともに、入寮オリエンテーション時などさまざまな機会を捉えて、研修生自身の健康管理（手洗い、消毒、検温等）について、周知・徹底を図っています。（体調に異変を感じた場合は、無理な受講を控え、速やかに職員へ連絡をすることとしています。）
- ・講師に対しても、講義前の検温、消毒など同等の健康管理をお願いしております。
- ・これらの取組みについて、詳細は、自治大学校 HP (<https://www.soumu.go.jp/jitidai/>) を参照ください。なお、今後の東京都の対応等により、適宜見直しを行うことがあります。





手指アルコール除菌設置



教卓前に飛沫防止板を設置



フェイスシールドの配布



講師と研修生との距離を2m確保



研修生間のソーシャルディスタンスを確保



講義ごとにアルコールで除菌



教室のドアを常時開放



空調による常時外気取り入れ



休憩時間ごとに窓からも換気



対面時の感染予防



来校者に対する検温の実施



講師控室にも手指アルコール除菌設置